



合同例会を終えて

企画部 西坂 竜之

昨年に引き続き、今年も宇部商工会議所青年部との合同例会を催すことができました。二つの異なる団体が、ひとつの事業を成すためには、越えなければならない障害、課題がいくつもあり、同一団体のなかではスムーズに行くことでも、お互いの会の会則や手続き上、時間がかかり、なかなか簡単に前に進めない事も多い。しかし、そのような状況の中で、若経の樋口部長と青年部の月本委員長は連絡を密にし、両会の各担当部で議論を重ね、素晴らしい内容の講師例会を企画し運営できたのではないかと思います。今回、宇部青年会議所の幹部数名もオブザーバーとして、例会と懇親会に出席されましたが、近い将来、宇部の若手三団体の合同例会が開催され、これが恒例化していったとすれば、第一回目、二回目に関わった者として、こんなに嬉しいことはありません。大変だとは思いますが、宜しくお願いします。最後になりましたが、樋口部長はじめ企画部のみなさんお疲れ様でした。



教育部の感想

平岡 一則

教育部の平岡です。ハロー

早いもので、若き経営者の会に入会して、7年も手帳を見ると経っていました。

私が入会したときは、会長は作村さんでした。若き経営者での経歴ですが、文化部ばかりしたということです。途中企画部にいました。その時の部長は猶さん、副部長は広橋さんで、部員は窪田敬介と、私です。部会はいつも「時代屋」という居酒屋さんで、「カンパイ」と飲んでばかり。広橋さんが、部会のお話をしようとする、敬介が横からまったく違う話をして、邪魔をする始末。私が「コラッ」と注意しても、笑ってまた違う話を続けます。でもとても有意義な、楽しい企画部でした。何故か話の途中で、部長の猶さんが出てきませんが、彼はただ飲んでいました。でも部長として、副部長と一人でやる事はやられたと思います。あ〜〜忘れてた。部員というより当時監査役の古川清さんも、企画部でした。怒ったかなエヘヘ。(あーいけねー)

話がそれてしまったしまいました。今年の教育部の感想を4百字位と樋口部長から頼まれたのに、もう数えたら超えてしまいました。私が今年の8月の教育部の例会を担当しましたねー。山口大学名誉教授の友永先生に講演をして頂きました。このことはちょっとプレッシャーを感じた次第です。自分が推薦したので、「友永先生だいじょうぶかな」という心配でした。

まだまだ話はつきませんが、このあたりで、終わりにします。

See you again

国際交流 篠田

毎年の恒例事業となります、今年の国際交流事業は宇部小野湖で行われるボート大会に参加しました。山口県国際交流協会から補助金を頂くことができ、企画部員の事業に対する思いの強さを感じる結果が出ました。留学生の中には、小野湖を知らない方もいらっしゃり、当然ボートに乗ったことすら無い方が大半でした。さすがに留学生チームはコンヒミネーションがいいのか、素晴らしいタイムを納めることができ、学生たちも大変楽しんでいました。一方、我が若経丸は下から2位ではありましたが、今後の課題として残りました…

「模擬裁判までの道のり」 中川繁巳



部会にて、7月の企画部担当例会に何をしようかと思案しているときに、アドバイザーの田中副部長から、近い将来導入される「裁判員制度」についての講師例会をすればと、提案をしていただいた。若経2年目の私に何が出来るかと思ったが、具体的なアドバイスにモチベーションが上がった。

誰か市役所の人が「出前講座」として説明に来てくれるだろうと思い込んでいたが、私が安易に考えていたことがすぐに判った。まず「市役所は裁判員制度の出張講座をしない、裁判所に行ってくれ。」と言われ次は山口地裁宇部支所に向かった。すると「山口市の山口地裁の…に聞いて下さい。」と。いよいよ「たらいまわし」という言葉が頭をよぎったが、ここは根性を出して話を進めた。ようやく、宇部の若経が裁判員制度の講習をしてほしいということが、裁判所に伝えることができた。

私の名刺を裁判所で担当職員に渡しているとき、「今度、うちの裁判所で裁判員制度を導入した『模擬裁判』をするんです。被告役以外は市民の皆さんにお願いしているんですが、今弁護士役をする人がなくて…」と担当職員が。これは今度の担当例会で参考になるかも知れないと思い参加をお願いした。ついでに田中副部長にも傍聴人で参加していただいた。

程なくして模擬裁判のシナリオを渡され、弁護士役の台本読みをする…、その時に、講習を聞くだけでなく模擬裁判をやってみる方が例会は楽しくなる！と思い付いた。裁判所での模擬裁判を熱演した後、担当の職員に模擬裁判を若経でやらせてほしいとお願いすると、二つ返事で許可をもらった。

担当例会当日までに、企画部のみならず会全体でアドバイスを下さり、何とか準備をすることができた。例会での模擬裁判、私が被告役になるのは少し切なかったが、裁判長役の東監査をはじめ、配役の皆さんには十分すぎる名演技をしていただいて本当に充実した気分になった。また抽選で選ばれた「裁判員」役の方々や傍聴した会員の皆さんも、来るべき裁判員制度を深く理解していただいている。

入会2年目の私でも、若経のちからで、こんな大掛かりな事業に携われるんだと実感した。

(終わり)

